

## 産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2025 年 10-12 月期〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

### 〔調査結果の概要〕

今期の調査は 359 社から回答があった。景況判断 DI は▲8 となり、前期調査から 12 ポイント改善した。来期の見通しは▲17 となり、9 ポイント悪化する見込みとなっている。

経営上の問題点の回答割合は、「修理、修繕費等の増加」の回答割合が最も高く、「従業員の不足」、「人件費の増加」の順となっている。

以下、その他業況感 DI の内訳

前期(2025 年 7-9 月)に対して、

- ・売上高 DI は 11 で、8 ポイント改善
- ・処理量 DI は 5 で、9 ポイント改善
- ・営業利益 DI は 0 で、8 ポイント改善
- ・資金繰り DI は▲2 で、1 ポイント悪化
- ・借入難易度 DI は 14 で、1 ポイント改善
- ・設備投資 DI は 5 で、3 ポイント悪化
- ・従業員数 DI は 1 で、同水準
- ・契約単価 DI は、収集運搬が 6 で、1 ポイント悪化  
処分が 8 で、1 ポイント改善

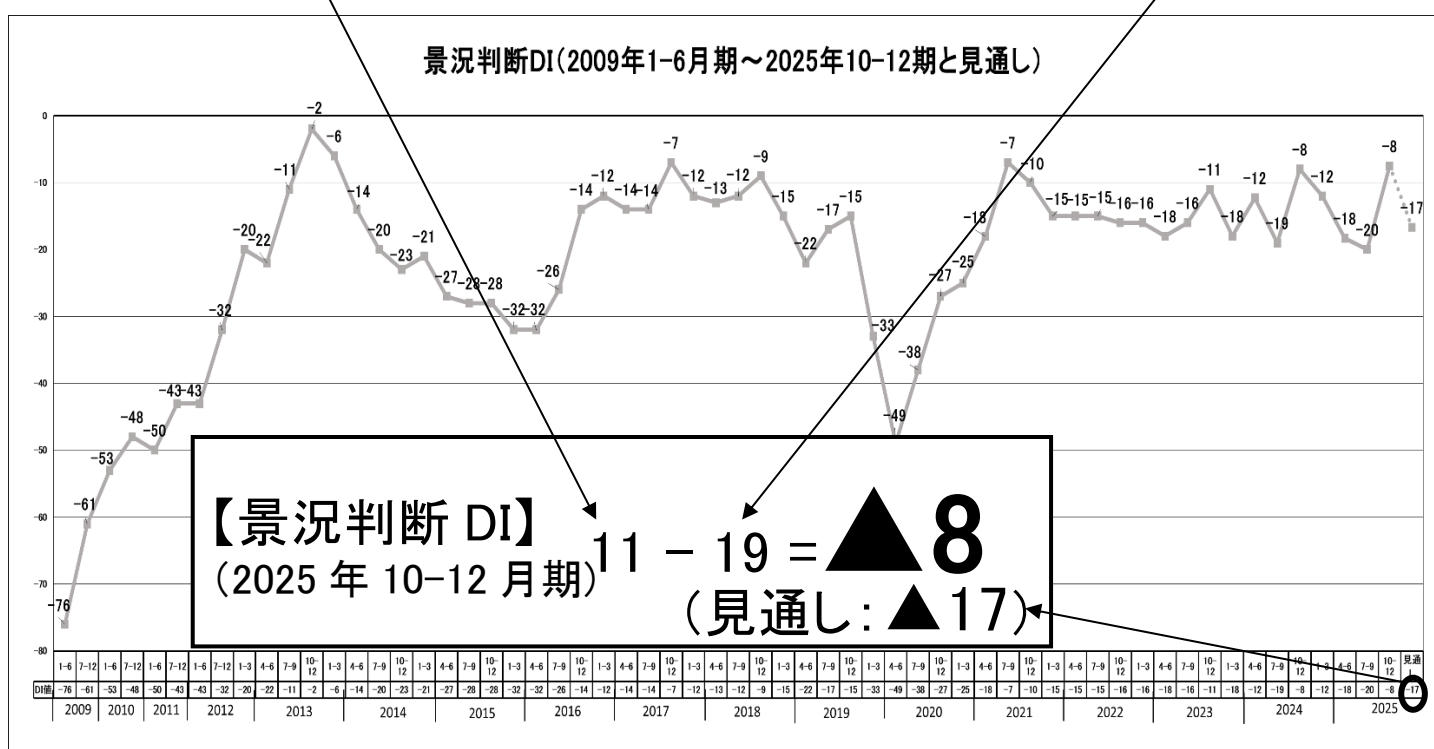
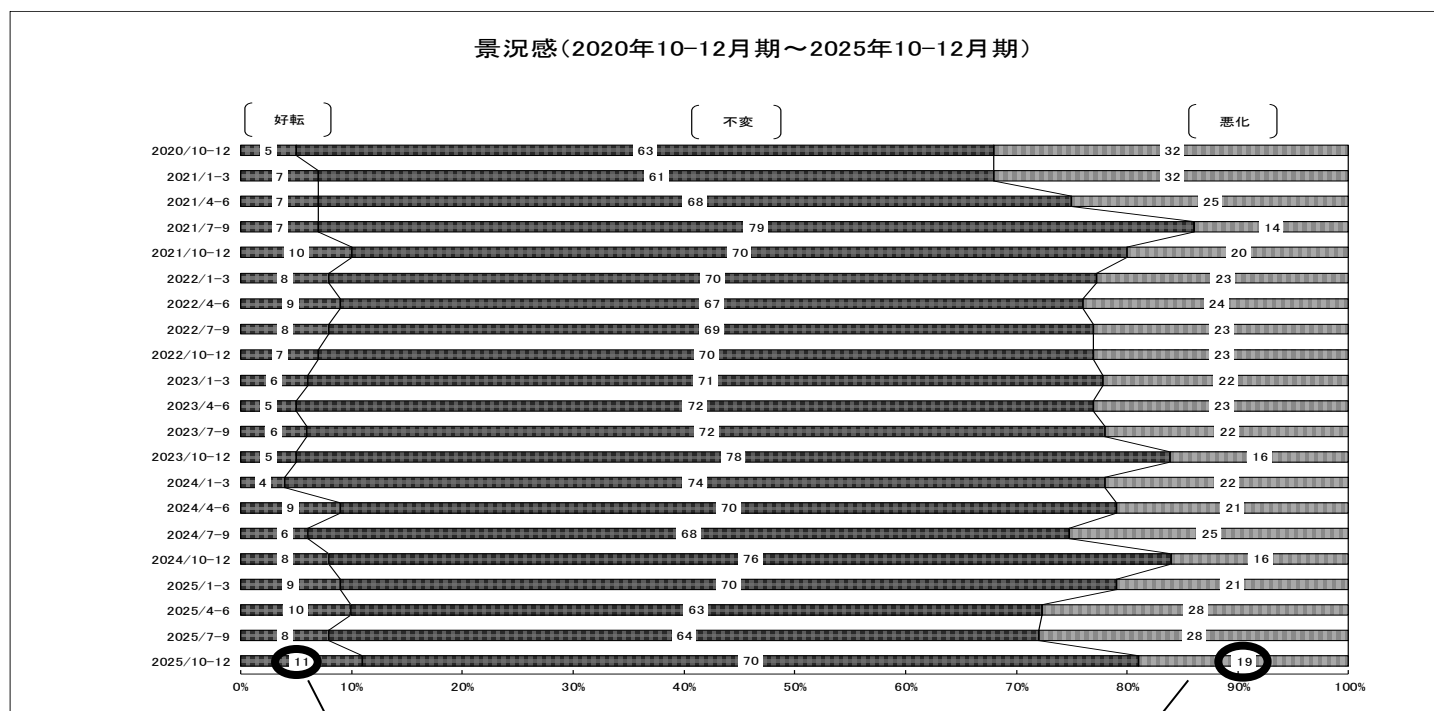
- 売上高の動向については、前年同期比で 0.8%増となった。
- 処理量の動向については、前年同期比で 23.7%減となった。
- 経常利益率については、前年同期比で 0.2%減となった。

※DI とはディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で「好転」・「増加」したなどとする企業割合から「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

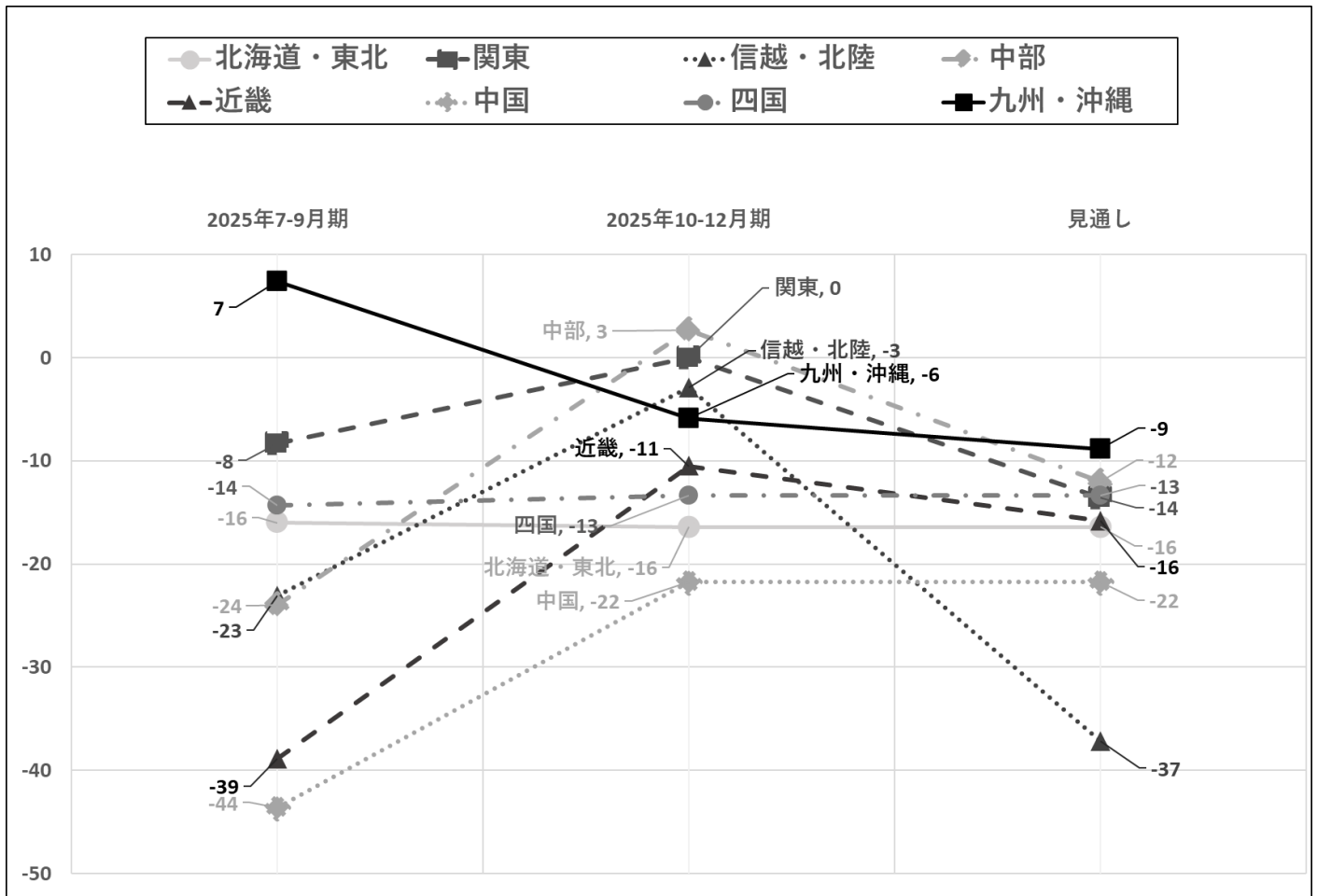
# 1. 景況感 DI(「好転」・「増加」―「悪化」・「減少」の企業割合)

## (1) 景況判断 DI

- 景況判断 DI は▲8 となり、前期から 12 ポイント改善した。  
見通しは▲17 となり、9 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 地域別の景況判断 DI をみると、「九州・沖縄」が悪化した。(3 ページ参照)
- 地域別の景況判断 DI 見通しをみると、「関東」、「信越・北陸」、「中部」、「近畿」、「九州・沖縄」が悪化する見込みとなっている。(3 ページ参照)



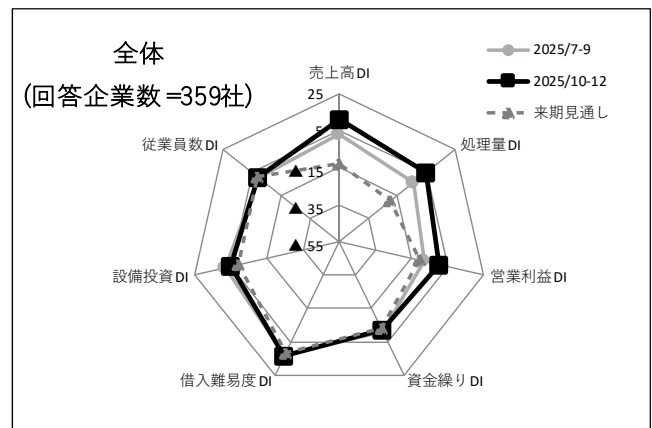
# 地域別景況判断 DI



	全国	北海道・東北	関東	信越・北陸	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
2025年7-9月期	-20	-16	-8	-23	-24	-39	-44	-14	7
2025年10-12月期	-8	-16	0	-3	3	-11	-22	-13	-6
見通し	-17	-16	-14	-37	-12	-16	-22	-13	-9

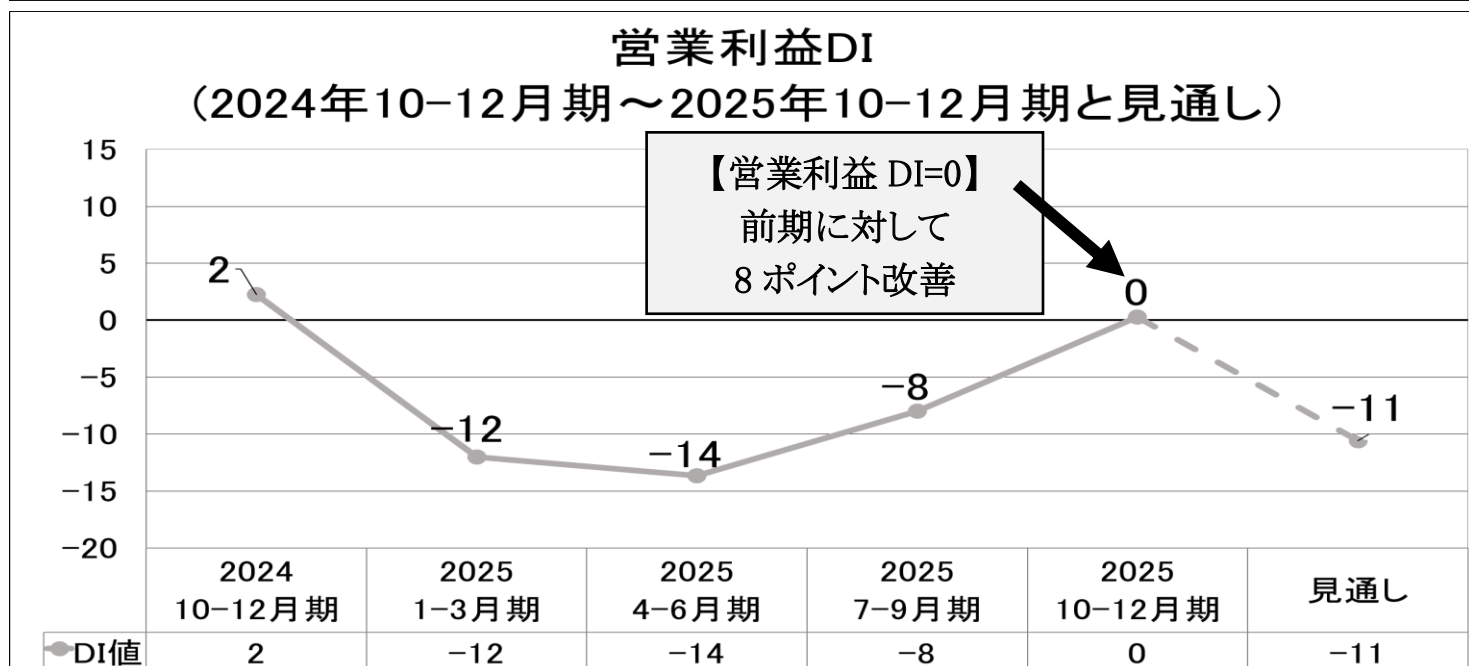
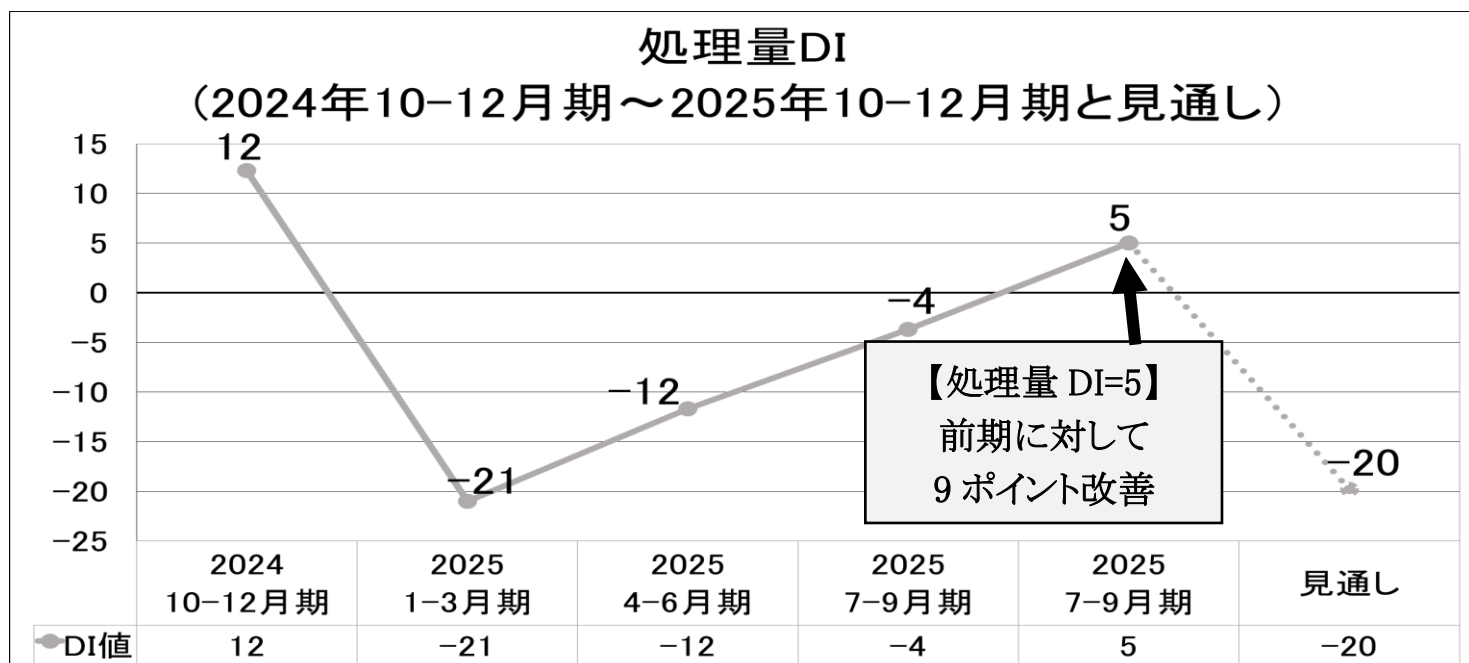
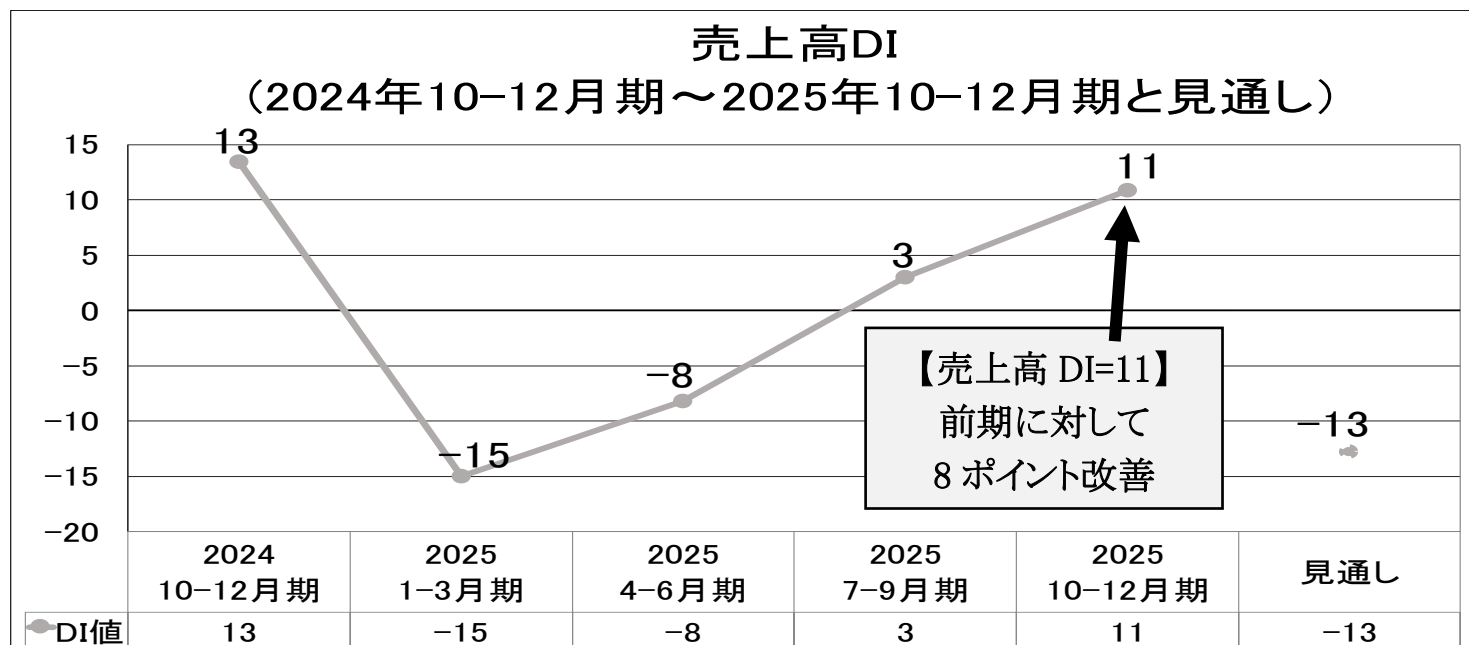
## (2)売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI

- 前期から「資金繰り DI」、「設備投資 DI」が悪化した。
- 見通しは、「従業員数 DI」が改善する見込みである。



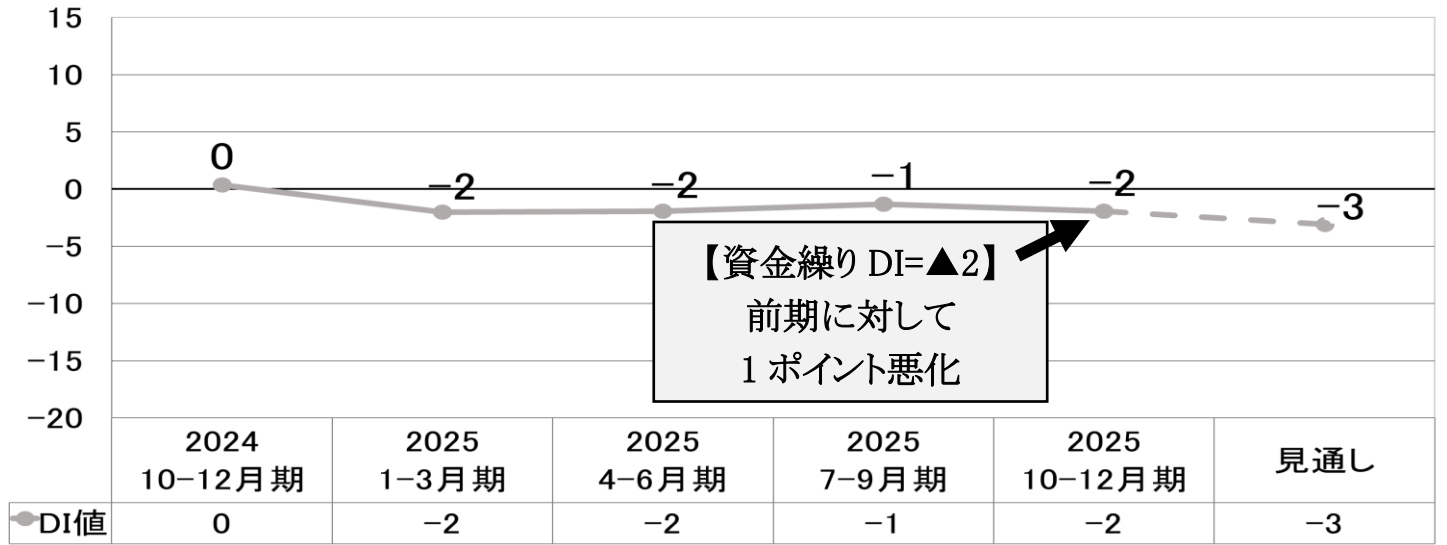
以下詳細(5～7 ページ参照)

- ・売上高 DI は 11 となり、前期と比べて 8 ポイント改善した。  
見通しは▲13 となり、24 ポイント悪化する見込み。
- ・処理量 DI は 5 となり、前期と比べて 9 ポイント改善した。  
見通しは▲20 となり、25 ポイント悪化する見込み。
- ・営業利益 DI は 0 となり、前期と比べて 8 ポイント改善した。  
見通しは▲11 となり、11 ポイント悪化する見込み。
- ・資金繰り DI は▲2 となり、前期と比べて 1 ポイント悪化した。  
見通しは▲3 となり、1 ポイント悪化する見込み。
- ・借入難易度 DI は 14 となり、前期と比べて 1 ポイント改善した。  
見通しは 12 となり、2 ポイント悪化する見込み。
- ・設備投資 DI は 5 となり、前期と比べて 3 ポイント悪化した。  
見通しは 1 となり、4 ポイント悪化する見込み。
- ・従業員数 DI は 1 となり、前期と同水準になった。  
見通しは 2 となり、1 ポイント改善する見込み。



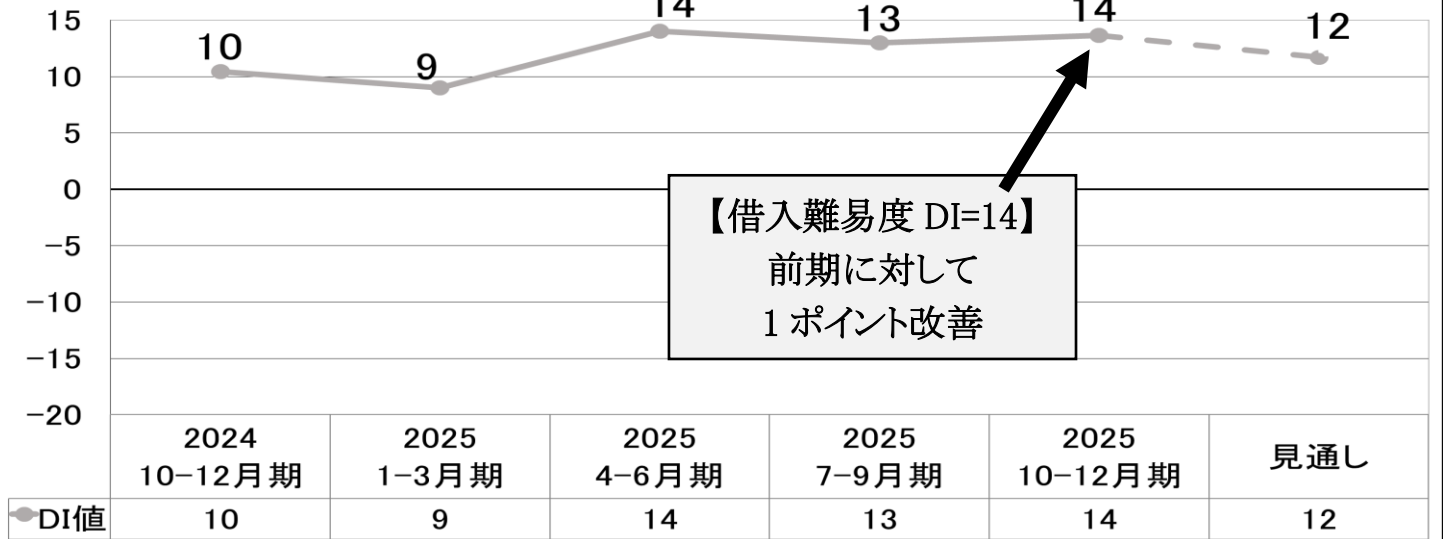
## 資金繰りDI

(2024年10-12月期～2025年10-12月期と見通し)



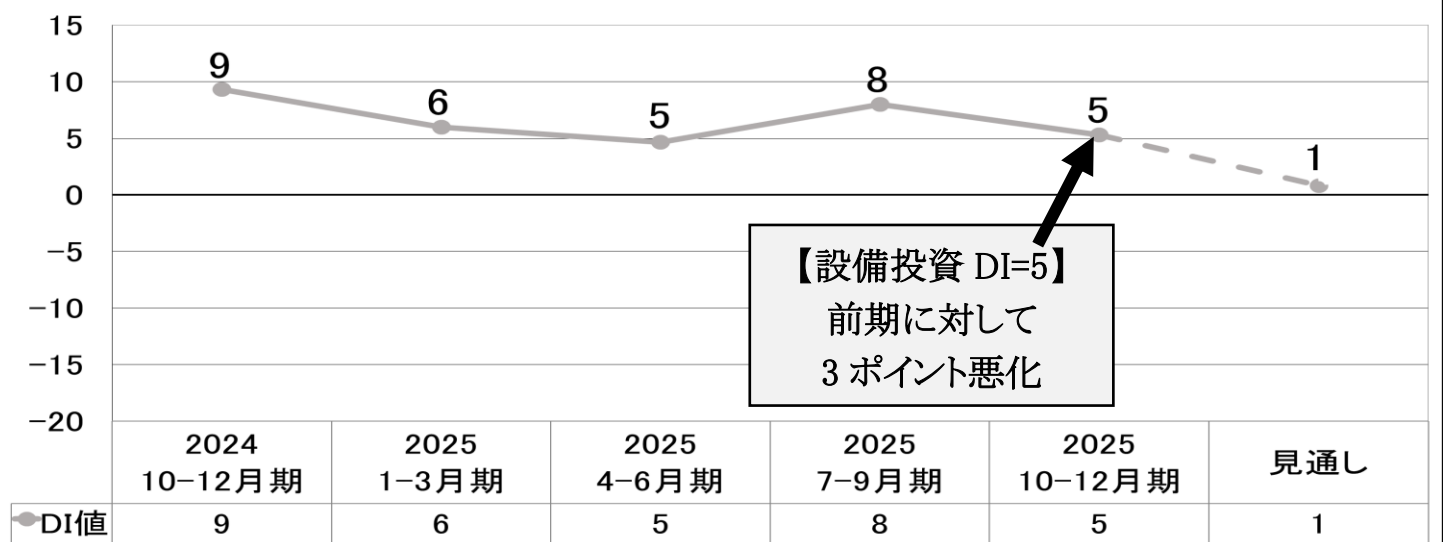
## 借入難易度DI

(2024年10-12月期～2025年10-12月期と見通し)

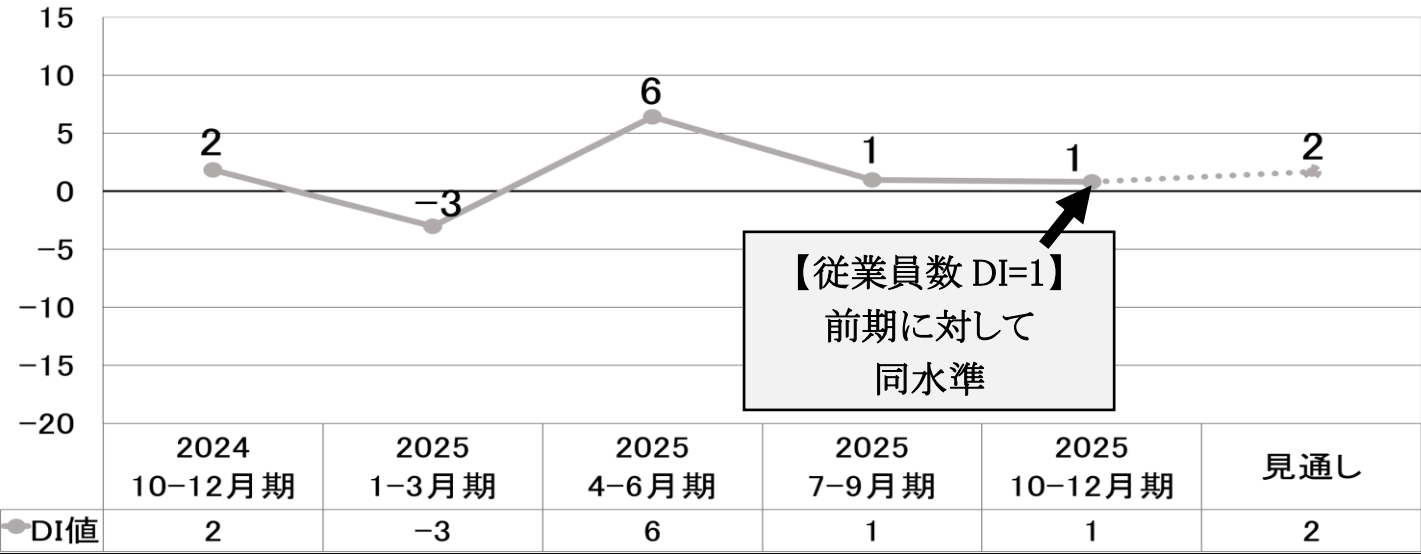


## 設備投資DI

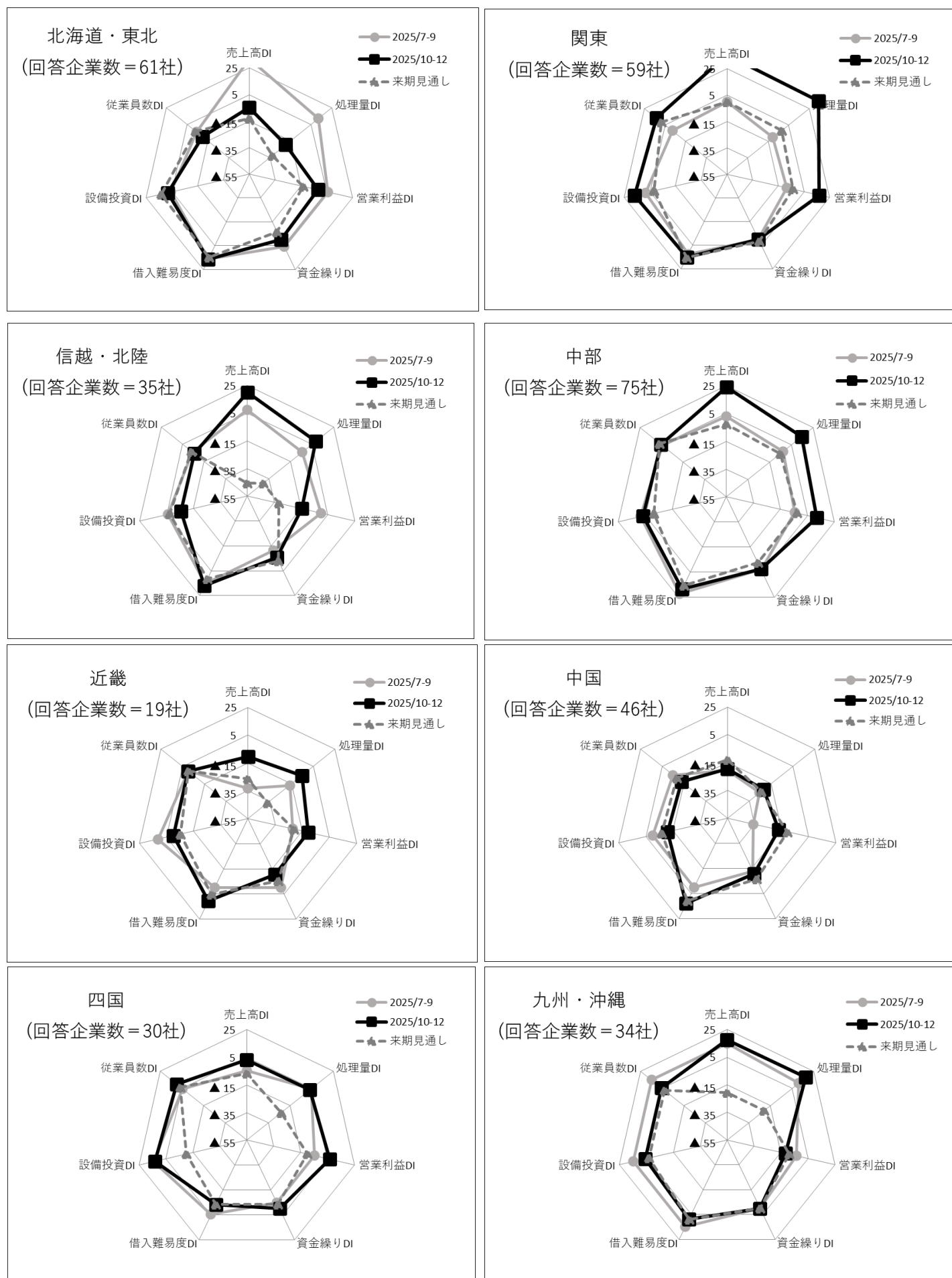
(2024年10-12期～2025年10-12月期と見通し)



# 従業員数DI (2024年10-12月期～2025年10-12月期と見通し)



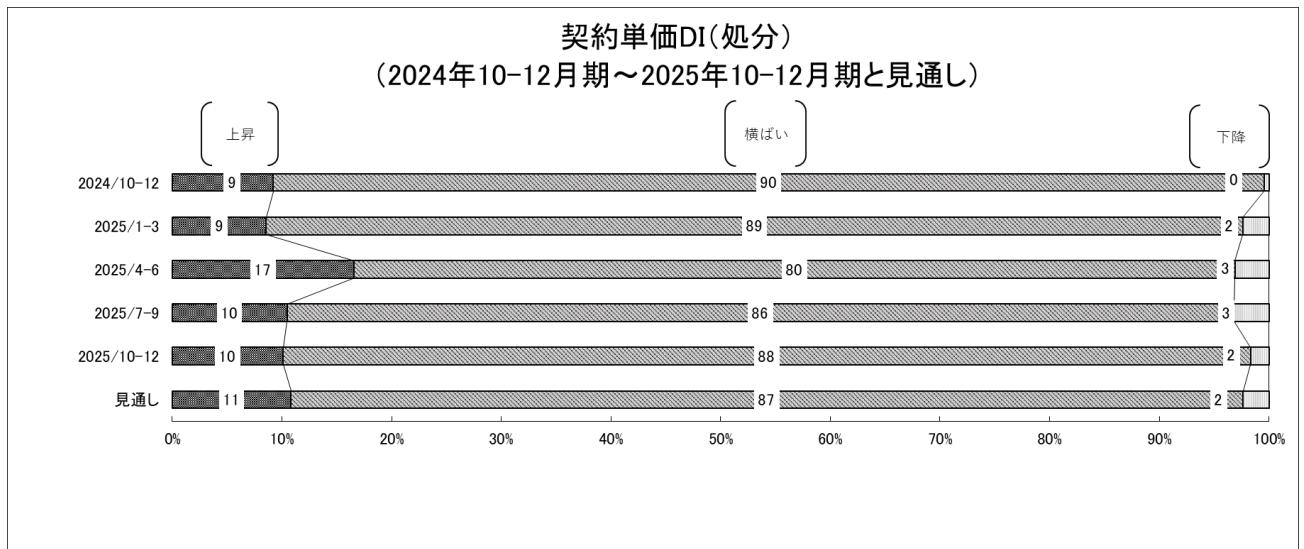
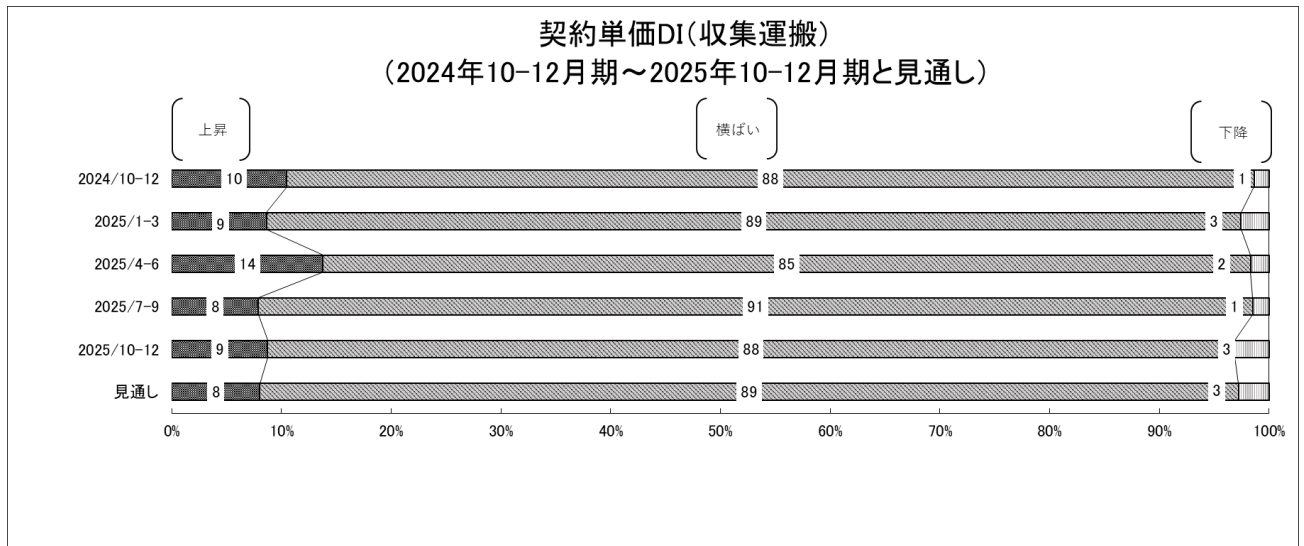
【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】





### (3) 契約単価 DI

- 収集運搬の契約単価 DI は 6 となり、前期と比べて 1 ポイント悪化した。  
見通しは 5 となり、1 ポイント悪化する見込みである。
- 処分の契約単価 DI は 8 となり、前期と比べて 1 ポイント改善した。  
見通しは 9 となり、1 ポイント改善する見込みである。



## 2. 売上高の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、0.8%増となった。

有効回答数:107 社

単位:千円

前年売上高	2024 年 10 月	2024 年 11 月	2024 年 12 月	平均
	6,249,794	8,357,843	5,940,230	6,849,289
今年売上高	2025 年 10 月	2025 年 11 月	2025 年 12 月	平均
	6,532,589	6,225,627	7,946,045	6,901,420
前年比	4.5%	▲ 25.5%	33.8%	0.8%

## 3. 処理量の動向

○ 前年同期比(3ヶ月平均)では、23.7%減となった。

有効回答数:127 社

単位:トン

前年処理量	2024 年 10 月	2024 年 11 月	2024 年 12 月	平均
	261,934	256,193	385,591	301,239
今年処理量	2025 年 10 月	2025 年 11 月	2025 年 12 月	平均
	231,243	205,040	252,835	229,706
前年比	▲ 11.7%	▲ 20.0%	▲ 34.4%	▲ 23.7%

4. 経常利益率(経常利益の対売上高比率)

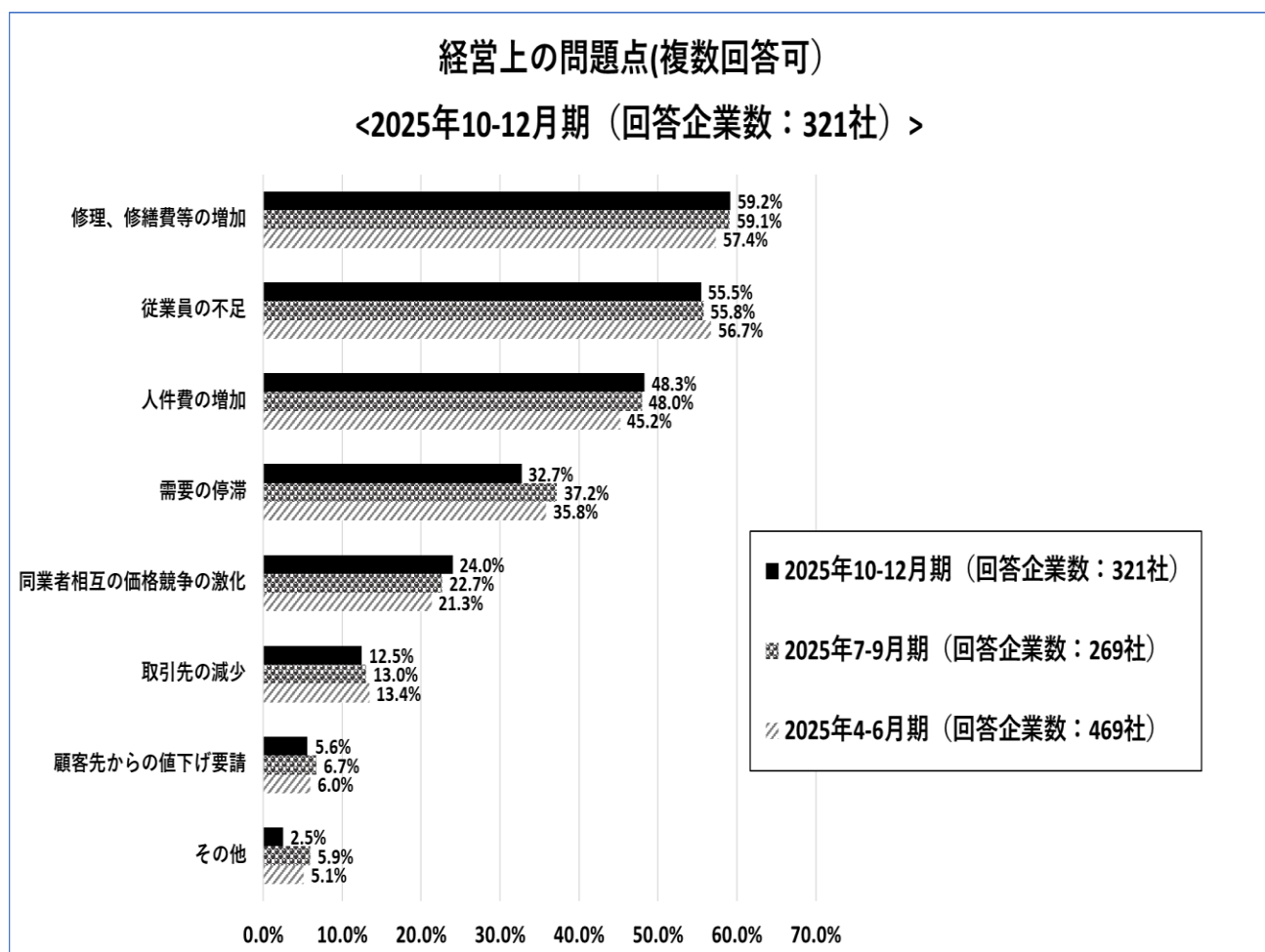
- 経常利益率の平均値は 9.7%となり、前年同期比で 0.2%減となった。

有効回答数:122 社



## 5. 経営上の問題点(複数回答可)

- 経営上の問題点として、「修理、修繕費等の増加」の回答割合が最も多く、「従業員の不足」、「人件費の増加」の順となっている。



### 【その他記述回答の代表的な意見】

- ・ 光熱費、燃料費、材料費、修繕費の高騰
- ・ 社員教育
- ・ 二次処理委託先からの値上げ
- ・ 単価値上げ交渉
- ・ 最終処分場の受入制限及び値上げ
- ・ 中国経済の悪化により国内外ともに物流量が減少
- ・ 豪雪により生産性悪化

## 〔調査実施要領〕

本調査は、産業廃棄物処理業の景気動向について把握するため、全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、集計したものである。

### (1) 調査対象者

全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員

### (2) 調査期間

2026 年 1 月 5 日～1 月 31 日

### (3) 調査方法

Web によるアンケート

### (4) 回答数・回答率

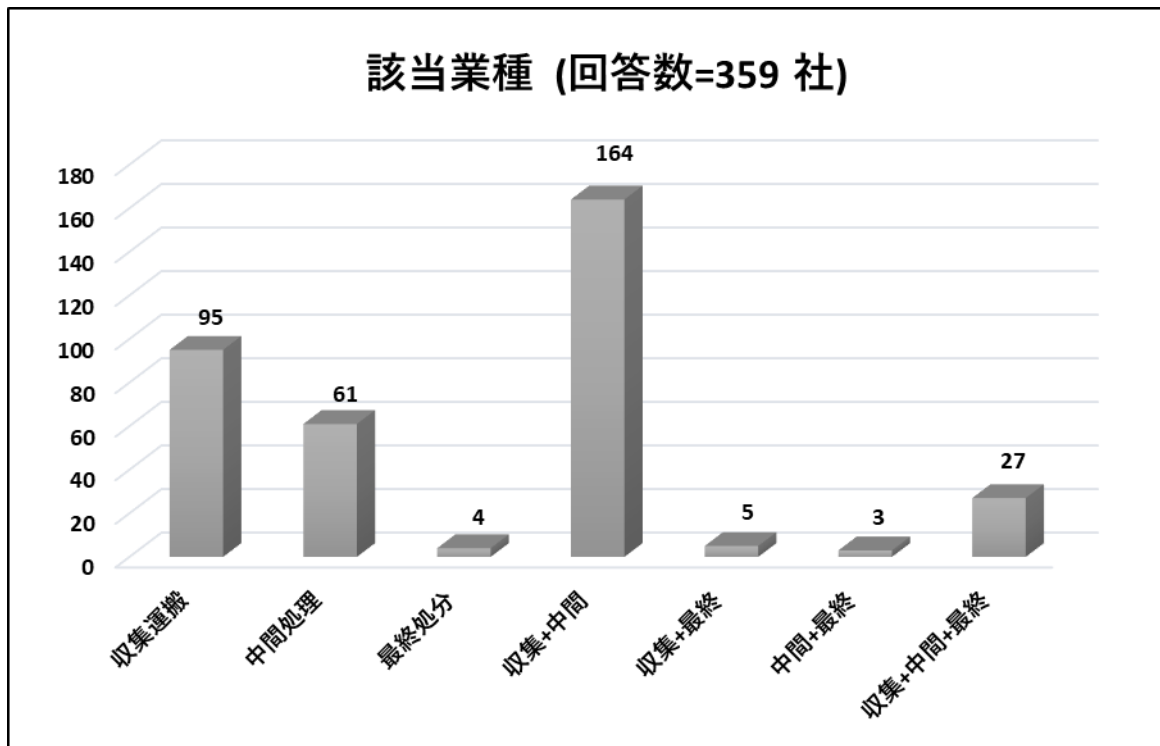
回答企業数                      359 社

### (5) サンプル構成

#### ① 地域別構成

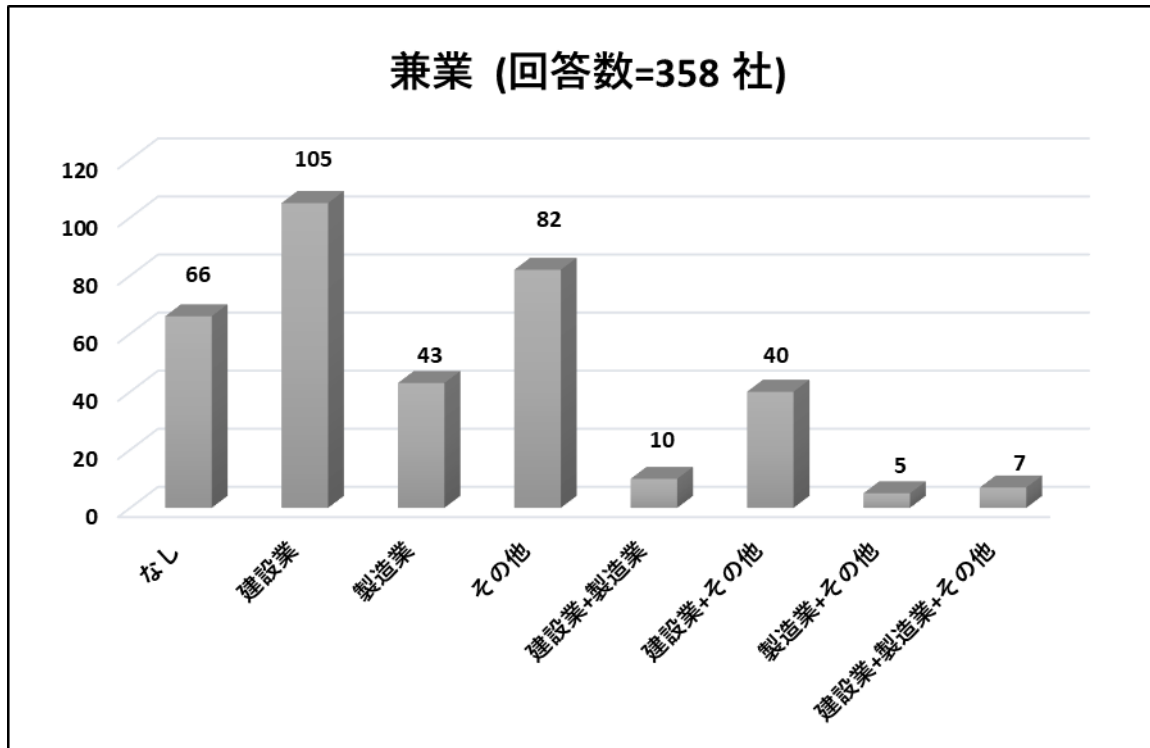
地域	企業数	構成比
北海道・東北	61	17.0%
関東	59	16.4%
信越・北陸	35	9.7%
中部	75	20.9%
近畿	19	5.3%
中国	46	12.8%
四国	30	8.4%
九州・沖縄	34	9.5%
合計	359	100.0%

② 業種別構成



該当業種	企業数	構成比
収集運搬	95	26.5%
中間処理	61	17.0%
最終処分	4	1.1%
収集+中間	164	45.7%
収集+最終	5	1.4%
中間+最終	3	0.8%
収集+中間+最終	27	7.5%
合計	359	100.0%

③ 兼業別構成



兼 業	企 業 数	構 成 比
なし	66	18.4%
建設業	105	29.3%
製造業	43	12.0%
その他	82	22.9%
建設業+製造業	10	2.8%
建設業+その他	40	11.2%
製造業+その他	5	1.4%
建設業+製造業+その他	7	2.0%
合計	358	100.0%